

H26中小企業振興施策 実施状況報告

平成27年7月
経済部

東大阪市第2次総合計画後期基本計画

中小企業のまち
東大阪市

部門別計画 第4部 活力ある産業社会を切り拓くまちづくり

第21節 モノづくりが元気なまち

- 4-21-1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します
- 4-21-2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます
- 4-21-3 モノづくり企業の販路開拓を応援します
- 4-21-4 地域経済の連携、交流に取り組みます

第22節 買い物しやすいまち

- 4-22-1 特色ある商業集積地域づくりを支援します
- 4-22-2 「元気な店舗グループ」の活動を支援します
- 4-22-3 地域資源の活用で集客力を強化します
- 4-22-4 安心して快適に買い物ができる環境づくりを進めます

第23節 農業と農地空間を大切にすまち

- 4-23-1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けます
- 4-23-2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信します
- 4-23-3 農業と農地空間の担い手を育てます
- 4-23-4 農地空間の持つ価値や機能を生かします
- 4-23-5 有害鳥獣被害への対策を進めます

第24節 産業活動にとって魅力のあるまち

- 4-24-1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます
- 4-24-2 金融面から産業活動を支援します
- 4-24-3 経済施策情報を分かりやすく発信します
- 4-24-4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

第25節 雇用が安定し、働きやすいまち

- 4-25-1 働きがいのある労働環境づくりを支援します
- 4-25-2 安心して働ける労働環境づくりを支援します
- 4-25-3 若者の就業を応援します
- 4-25-4 就職に困っている人の雇用を促します
- 4-25-5 高齢者の生きがい就労を応援します

第2部 市民文化を育むまちづくり

第8節 多くの国・地域や二つの交流が育まれるまち

- 2-8-5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します

東大阪市中小企業振興条例

中小企業のまち
東大阪市

第9条 中小企業の振興に関する施策

- 1 中小企業者の産業集積の活性化及びネットワークを強化させるための施策
- 2 中小企業者の操業環境の確保及び市民の住環境との調和を推進するための施策
- 3 中小企業者の販路拡大のための施策
- 4 中小企業者の経営資源を強化するための施策
- 5 中小企業者の人材の育成・事業承継に関する施策
- 6 中小企業者の資金調達の円滑化を促進させるための施策
- 7 中小企業者の創造的な事業活動の促進のための施策
- 8 中小企業者のグローバル化のための施策
- 9 中小企業者の労働環境を整備するための施策
- 10 中小企業者の魅力等の情報発信を行うための施策
- 11 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める施策

H26中小企業振興施策実施状況評価一覧

所管課	事業名	評価	掲載頁
1 中小企業者の産業集積の活性化及びネットワークを強化させるための施策 (評価A・Bの割合 54.5%)			
モノづくり支援室	高付加価値化促進事業	A	6
モノづくり支援室	異業種交流促進事業	A	13
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
商業課	商業振興コーディネート事業	A	15
商業課	共同施設設置助成事業	A	16
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
モノづくり支援室	創業促進インキュベーション支援事業	C	7
商業課	地域密着型支援事業	C	13
モノづくり支援室	モノづくりのまち東大阪技術力アピール事業	D	11
商業課	元気グループ推進支援事業	D	16
商業課	地域資源活用・広域集客型支援事業	D	17
2 中小企業者の操業環境の確保及び市民の住環境との調和を推進するための施策 (同割合 85.7%)			
モノづくり支援室	住工共生のまちづくり事業	A	5
モノづくり支援室	モノづくり立地促進補助事業	A	8
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
農政課	農業啓発推進事業	A	20
農政課	都市農業活性化農地活用事業	B	20
農政課	花とみどりいっぱい運動事業	B	21
農政課	有害鳥獣捕獲対策事業	C	21
3 中小企業者の販路拡大のための施策 (同割合 76.9%)			
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	A	5
モノづくり支援室	東大阪市技術交流プラザ事業	A	8
モノづくり支援室	成長産業参入支援事業	A	11
農政課	農業啓発推進事業	A	20
モノづくり支援室	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	B	6
モノづくり支援室	海外見本市出展支援事業・見本市等出展事業	B	7
モノづくり支援室	東大阪ブランド推進機構補助事業	B	9
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	B	10
モノづくり支援室	産業振興PR経費	B	12
農政課	都市農業活性化農地活用事業	B	20
商業課	観光振興事業	C	14
商業課	元気グループ推進支援事業	D	16
商業課	地域資源活用・広域集客型支援事業	D	17

所管課	事業名	評価	掲載頁
4 中小企業者の経営資源を強化するための施策 (同割合 90.9%)			
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	A	5
モノづくり支援室	高付加価値化促進事業	A	6
モノづくり支援室	成長産業参入支援事業	A	11
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
商業課	商業振興コーディネート事業	A	15
商業課	共同施設設置助成事業	A	16
農政課	農業啓発推進事業	A	20
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	B	10
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
農政課	都市農業活性化農地活用事業	B	20
モノづくり支援室	モノづくりのまち東大阪技術力アピール事業	D	11
経済総務課	中小企業振興会議	—	24
5 中小企業者の人材の育成・事業承継に関する施策 (同割合 77.8%)			
モノづくり支援室	モノづくり教育支援事業・東大阪市少年少女発明クラブ補助金	A	9
農政課	農業啓発推進事業	A	20
農政課	農産物展示品評会経費	A	22
農政課	優良農家優良団体表彰事業	A	22
モノづくり支援室	ビジネスセミナー開催経費	B	10
モノづくり支援室	モノづくり開発研究会支援事業	B	12
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
経済総務課	東大阪市CSR経営表彰(東大阪市企業・従業員表彰事業)	C	24
労働雇用政策室	モノづくり若年者等就業支援事業	D	18
6 中小企業者の資金調達の円滑化を促進させるための施策 (同割合 100.0%)			
経済総務課	中小企業融資事業	A	23

7 中小企業者の創造的な事業活動の促進のための施策 (同割合 62.5%)			
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	A	5
モノづくり支援室	高付加価値化促進事業	A	6
モノづくり支援室	成長産業参入支援事業	A	11
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
商業課	商業振興コーディネート事業	A	15
農政課	農産物展示品評会経費	A	22
農政課	優良農家優良団体表彰事業	A	22
モノづくり支援室	東大阪ブランド推進機構補助事業	B	9
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	B	10
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
商業課	地域密着型支援事業	C	13
商業課	観光振興事業	C	14
経済総務課	東大阪市CSR経営表彰(東大阪市企業・従業員表彰事業)	C	24
モノづくり支援室	モノづくりのまち東大阪技術力アピール事業	D	11
商業課	元気グループ推進支援事業	D	16
商業課	地域資源活用・広域集客型支援事業	D	17
経済総務課	中小企業振興会議	—	24
8 中小企業者のグローバル化のための施策 (同割合 100.0%)			
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	A	5
モノづくり支援室	海外見本市出展支援事業・見本市等出展事業	B	7
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	B	10
9 中小企業者の労働環境を整備するための施策 (同割合 60.0%)			
労働雇用政策室	障害者就業啓発事業	A	19
労働雇用政策室	ワークサポート事業	B	17
労働雇用政策室	若者自立支援事業	B	18
労働雇用政策室	モノづくり若年者等就業支援事業	D	18
労働雇用政策室	若年者等トライアル雇用支援金事業	D	19
10 中小企業者の魅力等の情報発信を行うための施策 (同割合 72.7%)			
モノづくり支援室	東大阪市技術交流プラザ事業	A	8
モノづくり支援室	モノづくり教育支援事業・東大阪市少年少女発明クラブ補助金	A	9
農政課	農産物展示品評会経費	A	22
農政課	優良農家優良団体表彰事業	A	22
経済総務課	中小企業情報提供事業	A	23
モノづくり支援室	海外見本市出展支援事業・見本市等出展事業	B	7
モノづくり支援室	産業振興PR経費	B	12
農政課	花とみどりいっぱい運動事業	B	21
商業課	地域密着型支援事業	C	13
商業課	観光振興事業	C	14
商業課	地域資源活用・広域集客型支援事業	D	17

※各施策の評価A・Bの割合は、評価「—」はカウントしていない

【様式の見方】

所属	所属名を記載	No.	通しNo.
事業名	事業名を記載	平成26年度 目標達成度	
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載	目標①、②の達成度に対して、目標が1つの場合は、A:8~7点、B:6~5点、C:4~3点、D:2点として目標達成度を記載。目標が2つの場合はA:4点、B:3点、C:2点、D:1点として、8~7点=A、6~5点=B、4~3点=C、2点=Dとして目標達成度を記載	
H26 決算	H26決算額を記載	H27 予算	H27予算額を記載
事業番号	第2期市政マニフェスト		振興 施策
マニフェスト No.	事業に関連するマニフェスト項目(公約項目欄)を記載		東大阪市中小企業振興条例に規定される中小企業振興施策番号を記載
指標①	事業を客観的に評価するための基準を記載	指標②	同左
指標の 説明・計算式	指標の説明・計算式等を記載	指標の 説明・計算式	同左
	H25	H26	H27
目標①	各年度の目標を記載	H26達成度 平成26年度目標に対する達成率を記載。 (100%=A、 90~100%未満=B、 60~89%未満=C、 50%未満=D)	目標② 同左
実績①	各年度の実績を記載	H27達成度	実績②
事業実績 (平成26年度)	平成26年度の取り組み内容を記載		
課題・問題点	平成26年度に取り組んだ改善策のうち、主に実施できなかった内容や、事業実績に記載した内容を実施する中での課題・問題点を記載		
平成27年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載		

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	1
-----	---

実施計画事業名	住工共生のまちづくり事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	東大阪市住工共生のまちづくり条例を制定し、製造業集積の維持・継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保する。	A

H26 決算	12,999千円	H27 予算	35,734千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	2		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
39-2	住環境と工場の操業環境の共生を図るため、「(仮称)住工共生のまちづくり条例」を制定します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	住宅・工場間における相隣環境対策支援件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	5件	5件	5件	A	目標②				
実績①	2件	6件	—		実績②				
事業実績 (平成26年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・準工業地域におけるモノづくり推進地域の追加指定及び重点地区の追加指定を行った。 ・市民とモノづくり企業が共生できる環境形成を促進するための補助金制度および住工混在を解消するための補助金制度について、補助率、補助限度額について拡充を行った。 ・工場の跡地に工場を誘致するための補助金制度を新設した。 ・金融機関、宅建関係者に対して本条例周知用のパンフレットを配布した。あわせて、市民に対しても市政だより配布時に同パンフレットを回覧した。 								
課題・問題点	東大阪市住工共生のまちづくり条例で、条例に基づく施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。								
平成27年度に向けた改善策	住工共生のまちづくり条例にかかる意見募集について、市政だよりやホームページへの掲載だけでなく、取組みの状況を広く周知する報告会等を開催するなど、意見を聴取する場を設ける。								

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	2
-----	---

実施計画事業名	モノづくりワンストップ推進事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	さまざまな発注案件に対応した企業を紹介する受注拡大サポートや、販路系や技術系の専門家の積極的な企業訪問などにより、企業が抱えるさまざまな課題解決に向けた相談に応じるなど、企業をきめ細かく支援する。	A

H26 決算	21,684千円	H27 予算	22,712千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	3	4	7	8
----------	---	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

指標①	相談対応件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	4,200件	4,200件	4,300件	A	目標②				
実績①	4,814件	5,024件	—		実績②				
事業実績 (平成26年度)	各コーディネーターが市内企業を訪問し、市・府・国の施策を紹介するとともに、企業の抱える課題・ニーズの掘り起こしを行い、サポートや適切な支援機関につなぐ等のサービスを実施した。また、さまざまな発注案件に対応した企業を紹介した。								
課題・問題点	市内企業が有する強みとなる技術を把握し、各案件とのマッチングにいかにか正確に繋げていくかが課題である。								
平成27年度に向けた改善策	平成27年度は民間のマッチングサービス会社とも提携し、市内企業のマッチング支援を実施していく。また、コーディネーターの訪問件数を増やし、更なる市内企業のニーズ把握に努める。								

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	3
-----	---

実施計画事業名	高付加価値化促進事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内企業の新製品開発やグループでの研究など新たな取り組みを促進し、モノづくりの工程である「企画・設計・開発」→「試作」→「製品化」を体系的に支援する。	A

H26 決算	6,082千円	H27 予算	10,664千円
-----------	---------	-----------	----------

振興 施策	1	4	7
----------	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	製品化に至った補助件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	5件	5件	5件	A	目標②				
実績①	3件	5件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	2回に分け公募を実施。10件の提案に対して7件を採択し、助成金を交付した。いずれの事業も製品化に向けた試作品や完成品など一定の技術研究の成果があり、うち5件は製品化に至った。
------------------	---

課題・問題点	本事業の性質の補助金を必要としている企業はまだ多くいることが考えられ、案内の周知徹底を図る。そのためにも、ワンストップ相談業務にあたる技術及び販路コーディネータは、今以上に積極的に企業訪問するなど、日頃より市内企業の動きをより把握することが求められる。
--------	--

平成27年度に向けた改善策	平成27年度より、販路系コーディネータのアプローチする企業数をより明確にし、本事業の情報提供を行っていく。加えて、事業全体の年間スケジュールを明確にし、より多くの企業に本事業を活用して頂けるよう、公募回数を増やすなど計画的に事業を遂行する。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	4
-----	---

事業名	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪の1階、2階の展示場に市内企業が製品や技術を展示することに対して出展支援を行う。補助対象者は市内企業のみで、出展開始後2年間、月額出展料の3分の1以内で補助金を交付する。	B

H26 決算	689千円	H27 予算	954千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	3		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
40-2	クリエイション・コア東大阪が「ものづくり支援拠点」として一層活用されるよう、連携強化と機能充実を図ります。

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	4

指標①	支援企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	—	15社	15社	B	目標②				
実績①	14社	13社	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	補助対象企業13社に対し、684,000円の出展支援補助を行った。
------------------	-----------------------------------

課題・問題点	モノづくり支援拠点としてのクリエイション・コア東大阪の機能の一翼を担う本事業について、さらなる積極的なPRが必要。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	平成26年度より、本事業の実施主体を(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構へ変更することで、市内企業に精通したコーディネーターから効果的・効率的に本事業の情報提供を行う。さらに、同支援機構はクリエイション・コア東大阪内に事務所を構えるため、入居機関とのより緊密な連携が図れ、スムーズな運用を目指す。
---------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	5
-----	---

事業名	創業促進インキュベーション支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪内の「インキュベートルーム」に地域の技術集積を活用して、新たな事業を創出し、展開しようとしている企業・ベンチャー企業等の家賃を一部補助する。また、企業等が商談や企業間交流を行う共用スペースである「コミュニケーションスペース」を確保する。	C

H26 決算	3,115千円	H27 予算	7,870千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	1		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	4

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	6
-----	---

実施計画事業名	海外見本市出展支援事業 見本市等出展事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者が展開する積極的な販路拡大を支援するため、国内外における商談や交流の機会を設ける。	B

H26 決算	4,880千円	H27 予算	5,000千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	3	8	10
----------	---	---	----

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

指標①	支援企業数	指標②	
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式	
	H25 H26 H27 H26達成度		H25 H26 H27 H26達成度
目標①	- 10社 10社	目標②	
実績①	6社 5社 -	実績②	

事業実績 (平成26年度)	補助対象企業5社に対し、金額1,314,000円の家賃の補助を行った。 また、クリエイション・コア東大阪北館4階のコミュニケーションスペース(入居企業の交流の場)の賃借料・電気代を支出(光熱水費:178,061円)
------------------	--

課題・問題点	モノづくり支援拠点としてのクリエイション・コア東大阪の機能の一翼を担う本事業について、さらなる積極的なPRが必要。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	平成26年度より、本事業の実施主体を(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構へ変更することで、市内企業に精通したコーディネーターから効果的・効率的に本事業の情報提供を行う。さらに、同支援機構はクリエイション・コア東大阪内に事務所を構えるため、入居機関とのより緊密な連携が図れ、スムーズな運用を目指す。
---------------	---

指標①	海外見本市など出展補助件数	指標②	もうかりメッセ東大阪での引き合い件数
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式	
	H25 H26 H27 H26達成度		H25 H26 H27 H26達成度
目標①	5件 5件 5件	目標②	- 5,000件 -
実績①	6件 5件 -	実績②	- 2,275件 -

事業実績 (平成26年度)	海外見本市補助(助成)金については、5月、及び9月に公募を行い、目標となる出展補助件数5件を達成。もうかりメッセについては、2月に開催し、84社・団体、87小間が出展し、3,030人の来場があったが引き合いについては2,275件であった。
------------------	---

課題・問題点	コーディネータの支援について、より深い対応をしていく必要がある。
--------	----------------------------------

平成27年度に向けた改善策	コーディネータによる市内企業へのアプローチを増やし、販路開拓に繋がるよう対応していく。
---------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	7
-----	---

実施計画事業名	モノづくり立地促進補助事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	工業専用地域や工業地域において、新たに製造業を営む場合や工場を建設する場合などに、土地・建物にかかる都市計画税および固定資産税相当額の一定割合の補助金を交付することで、製造業の立地と定着を図る。	A

H26 決算	14,232千円	H27 予算	16,179千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	2		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	補助事業活用による新規立地件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	3件	3件	3件	A	目標②				
実績①	0件	3件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	補助対象地域を拡充したため、申請や相談件数が大幅に増えた。
------------------	-------------------------------

課題・問題点	当該補助金の周知が不足している。
--------	------------------

平成27年度に向けた改善策	銀行等の関係団体との連携及び当該補助金の広報を行い、本補助事業を活用していただけるよう、よびかけた。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	8
-----	---

実施計画事業名	東大阪市技術交流プラザ事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者の情報発信・販路開拓を支援するため、製造業検索サイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。	A

H26 決算	6,709千円	H27 予算	6,973千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	3	10	
----------	---	----	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	サイト全体のページビュー数				指標②	技術交流プラザ登録企業数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	700,000件	720,000件	740,000件	B	目標②	1,100回	1,120件	1,140回	A
実績①	700,148件	662,972件	—		実績②	1,120回	1,147件	—	

事業実績 (平成26年度)	未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行った結果、126社から新規申し込みがあった。また、1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展やインターネットを活用した広告を実施。主にYahooでの検索連動型広告を実施した結果、通常月に比べ、問い合わせ件数が2倍になった。
------------------	---

課題・問題点	本サイトは、登録作業を企業にお願いしているため、申込みをいただいたにもかかわらず、パソコンの操作が苦手などの理由により本サイトへの掲載まで至らない場合がある。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	パソコンの操作が苦手などの理由により技術交流プラザへの掲載ができていない企業を対象に、本サイトの企業ページ作成セミナーを複数回実施し、多くの事業者を活用いただく。
---------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	9
-----	---

実施計画事業名	東大阪ブランド推進機構補助事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内製品の多様性と集積を「東大阪ブランド」という都市ブランドの下、広く認知されるようにPR活動を行い、「東大阪ブランド」に認定された製品の販路拡大をめざすとともに、都市イメージを向上させる。	B

H26 決算	4,822千円	H27 予算	4,727千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	3	7		
----------	---	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
39-5	市内企業がつくり出す最終製品を「東大阪ブランド製品」として認定し、国内外へ向け効果的、総合的に情報発信するとともに、「モノづくりのまち東大阪」の企業の優位性や「東大阪ブランド製品」が広く認知されるような取り組みを進めます。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

指標①	ブランド認定製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	150件	160件	170件	B	目標②				
実績①	137件	131件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	<ol style="list-style-type: none"> 東大阪ブランド推進機構の理事を中心に、会員企業訪問や事業企画などを実施。 新規に2社4製品を東大阪ブランド製品に認定。 テクノメッセ東大阪、もうかりメッセ東大阪 in 東京などで東大阪ブランドのPRを実施。 大阪芸術大学、近畿大学との産学連携事業を実施。 地域向けのイベントとして「モノづくりひろばHIGASHIOSAKA」を開催。
------------------	--

課題・問題点	東大阪ブランド推進機構の今後のあり方について、検討を開始しており、会員企業の意思統一及び団体運営のための収入源の確保が課題である。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	平成27年度中に、東大阪ブランド推進機構の今後のあり方について、方向性を定める。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	10
-----	----

実施計画事業名	モノづくり教育支援事業 東大阪市少年少女発明クラブ補助金	平成26年度 目標達成度
事業概要	小学校でのモノづくり体験教室の実施や、少年少女発明クラブの支援により、次代を担う子どもたちの、モノづくりへの興味や関心を高め、モノを作る楽しさを知ることにより、豊かな創造性を育むとともに、将来の産業を担う人材を育成する。	A

H26 決算	4,568千円	H27 予算	4,668千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	5	10		
----------	---	----	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
39-6	ものづくりに対する興味を抱いてもらうため、子どもの頃からものづくりに触れることのできる機会を提供します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式	(延べ参加者数/定員×100)			
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	4,500件	4,500件	4,500件	A	目標②	80%	80%	80%	A
実績①	3,511件	4,962件	—		実績②	85%	80%	—	

事業実績 (平成26年度)	【モノづくり教育支援事業】 のべ88校、229クラス、7,284人の応募中、のべ62校、154クラス、4,962人が当事業に参加した。 【少年少女発明クラブ】 開催回数30回、延べ参加人数672人 なお、公開事業については、4月実施の「公開創作教室」において59名、8月実施の「夏休み親子ものづくり体験教室」において23組の参加があった。
------------------	---

課題・問題点	【モノづくり教育支援事業】 できる限りたくさん子どもたちに当事業に参加してもらいたいが、授業数を増やすと企業の負担が増えてしまう。 【少年少女発明クラブ】 年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。
--------	--

平成27年度に向けた改善策	【モノづくり教育支援事業】 体験教室を広く周知し、参加企業を増やすことで参加者の増加を図って参りたい。 【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。
---------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	11
-----	----

実施計画事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	企業が製品デザインで競争力を備えるため、著名な工業デザイナーによる、デザイン力向上に関する啓発や助言などの活動を通して、魅力あるデザイン製品を創出する。	B

H26 決算	2,614千円	H27 予算	2,900千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	3	4	7	8
----------	---	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
39-4	市内企業がつくり出す製品の高付加価値化を更に高めるとともに、「モノづくりのまち東大阪」で生み出されるデザイン製品を、世界に向けて発信します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらし
4	21	1

指標①	デザインクリエイティブアドバイザーが取組成果で発表する製品数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	5件	5件	5件	B	目標②				
実績①	2件	4件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	①デザイン製品を志向する市内中小企業に対し、開発テーマ「マンション等住宅の改装に必要とされるモノづくり」と定め、リノベーション市場をターゲットに新製品開発を実施。(4社)②諸外国でのデザインに関する動向や製品開発におけるデザインに必要な視点、デザイン性を高めることによる効果などの解説と併せて製品アドバイスを実施。(2回開催)③10月に、東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2014」へ出展し、本事業の成果を発信した。
------------------	--

課題・問題点	デザインとは、製品の外観だけでなくマーケットニーズ・素材・コスト・品質・機能性・安全性・使用感・パッケージング・プロモーション・プライシングなどの観点をうまくまとめあげていく概念である。デザイン資源への重要性を啓発していくとともに、成功事例の成果を輩出してスムーズに取組める環境を整えていく必要がある。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	これまでデザインセミナー、デザイン製品開発及び販路開拓プロモーションを実施してきた。今後も、マーケットの発想にもとづく製品開発を啓発するとともに、市内中小企業による商品価値を高めたり、感性価値を創出した成果事例の輩出を行っていく。
---------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	12
-----	----

事業名	ビジネスセミナー開催経費	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内中小企業者の人材育成を積極的に推進し、新分野進出や業務改善、後継者育成等をはかるため、(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構がビジネスセミナー(営業・経営・法律・IT等のテーマ)を開催することを補助する。	B

H26 決算	1,313千円	H27 予算	1,500千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	5			
----------	---	--	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらし
4	24	3

指標①	ビジネスセミナー参加数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	—	500社	500社	B	目標②				
実績①	438社	446社	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	平成26年度は、営業、経営、法律、IT等のテーマのビジネスセミナーを26回開催し、446名の参加があった。
------------------	---

課題・問題点	ニーズに沿ったビジネスセミナーの内容、テーマ設定が課題
--------	-----------------------------

平成27年度に向けた改善策	市内企業を取り巻く環境を常に注視しながら、中小企業を取り巻く時代や環境の変化に対応し、なおかつ中小企業に必要と思われる内容のセミナーを設定していく。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	13
-----	----

実施計画事業名	モノづくりのまち東大阪技術力アップ事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内製造業が産業財産権活用事業補助金を活用することで、新技術・新製品の開発を促進させるとともに、知的財産の創造・活用を推進し、製品の付加価値化への転換を図ることを支援する。	D

H26 決算	142千円	H27 予算	1,000千円
-----------	-------	-----------	---------

振興 施策	1	4	7
----------	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
39-3	知的財産の活用を推進し、市内企業がつくり出す製品の高付加価値化を促します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	産業財産権活用事業補助金補助件数	指標②	知的財産が主題となったビジネスセミナーの参加者数						
指標の説明・計算式		指標の説明・計算式							
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	7件	7件	7件	D	目標②	40回	40件	40回	D
実績①	0件	2件	—		実績②	0回	0件	—	

事業実績 (平成26年度)	平成26年度より補助金の申請要件を緩和したこともあり、相談件数も増え、申請があった2件について補助金を交付した。また、大阪府や各種支援機関、金融機関が参加する連携会議に参加し、企業への知的財産の重要性の周知を含め協力関係の構築に努めた。
------------------	--

課題・問題点	現状において補助金の申請件数が少ない。
--------	---------------------

平成27年度に向けた改善策	大阪府や各種支援機関、金融機関との連携を強化し、市内企業へ特許権の重要性を更に周知していく。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	14
-----	----

事業名	成長産業参入支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	航空・宇宙、ロボット、エネルギー、医療・福祉機器等、近年成長著しい分野への参入に向けたセミナー・見学会等を開催。メールマガジンでも関連する情報を提供する。	A

H26 決算	405千円	H27 予算	500千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	3	4	7
----------	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	環境ビジネス研究会登録企業数	指標②							
指標の説明・計算式		指標の説明・計算式							
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	—	270社	310社	A	目標②				
実績①	255社	288社	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	(公財)東大阪市産業創造労働者支援機構に委託し、平成22年に作成したロードマップ(本市の産業構成に照らし市内企業がどのような分野から環境ビジネスへ参入を進めるべきかを示したもの)に掲載されたテーマを中心に、最新情報に関するセミナーの開催や見学会など情報提供を引き続き行った(見学会2回、セミナー5回を開催) 情報提供を行っている環境ビジネス研究会メンバー登録者数は、288名まで増加(平成27年3月末現在)
------------------	--

課題・問題点	環境ビジネスは、そもそも成長分野のひとつとして捉えており、そのような成長分野へ参入していく企業体質・気風を市内製造業へ広げていく趣旨の下で実施してきた。然しながら、事業開始から5年が経過しようとする中で、これまでの環境分野のみならず、成長分野であるが市内で参入している企業が少なく、例えば「医療器具・機器」といった分野にも対象を広げていく必要がある。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	環境ビジネス以外の分野にも対象を広げ、セミナーや見学会を実施する。特に、医療分野においては、国内の高齢化に伴う医療行為受診者が増加していることに加え、国内医療現場では海外製の医療器具・機器がシェアを占めており、大幅な輸入超過となっていることから、国内シェアを獲得する余地が残されている。市内モノづくり企業のこれらの分野への参入を、後押しするセミナーを開催して参りたい。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	15
-----	----

事業名	産業振興PR経費	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内企業は営業力を課題にあげる企業が多く、技術や製品のPR力を高めたいと考える企業が多い。市では、人通りの多い市役所の1階や証明書発行等を行う行政窓口及び地域活動の拠点施設である7か所のリージョンセンター等で製品展示スペースを設け、PRを希望する企業の製品を展示しており、各企業の情報発信、取引の拡大を図るとともに、市民等にモノづくりのまらを感じて関心を持ってもらうことにより、市域企業への理解の促進につなげている。	B

H26 決算	284千円	H27 予算	446千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	3	10
----------	---	----

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	地域内工業製品展示数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	-	80社	80社	B	目標②				
実績①	67社	68社	-		実績②				

事業実績 (平成26年度)	新規展示の募集を行い、2社が新たに展示。既存展示のうち、廃業により1社を撤去した。
------------------	---

課題・問題点	・各展示場とも事業開始より相当年数が経過し、形骸化や展示ケースの老朽化が進んでいる。また空きスペース(小間)が多いため寂れた印象を受け、足を止め見る人はほとんどいない。 ・製品展示を希望する企業を定期的(年に1回)に募集しているものの、応募は少ない状況。
--------	--

平成27年度に向けた改善策	『東大阪市の産業集積地の企業情報発信方法』というテーマで、近畿大学経営学部と産官学連携を予定。展示スペースや市の施設等を活かした、画期的なアイデアについて提案を受け、単発的な取り組みではなく、中長期的な視点での情報発信、仕掛けづくりにつなげていく。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	16
-----	----

事業名	モノづくり開発研究会支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内企業の技術力高度化や研究開発促進を目的としてテーマが設定された2分科会「トラブルシューター育成コース」「中堅人材育成コース」により研究会を実施している。それぞれのテーマに基づき機器利用による講習会及び外部講師を招いた座学講習会などを市立産業技術支援センターにおいて実施する。	B

H26 決算	350千円	H27 予算	350千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	5		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	参加者の満足度				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	100回	100社	100社	B	目標②				
実績①	96社	85社			実績②				

事業実績 (平成26年度)	次代の企業を担う中堅人材や技術者を育成することを目的に、「金属コース」と「高分子コース」の2つのコースを実施した。
------------------	---

課題・問題点	講義内容の充実と満足度の向上。
--------	-----------------

平成27年度に向けた改善策	平成26年度は満足度が低下したため、アンケートの意見・要望を取り入れながら講義内容を充実させていく。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室
----	--------------

No.	17
-----	----

事業名	異業種交流促進事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	平成7年度に市内の異業種交流グループ間の情報交換や交流を図る目的で結成された、東大阪市異業種交流グループ連絡協議会の活動を支援することにより本市産業の活性化を図る。	A

H26 決算	250千円	H27 予算	250千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	1			
----------	---	--	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1
4	21	4

指標①	交流会の参加者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	-	72社	85社	A	目標②				
実績①	66社	81社	-		実績②				

事業実績 (平成26年度)	1. 第22回東大阪市異業種交流グループ交流会の開催 14団体の異業種グループが一堂に会し、「クラウドファンディングの活用」について勉強会を開催するとともに、グループ間の情報交換を行った。 2. 異業種イノベーション大交流会 2015への参加 尼崎で開催された「異業種イノベーション大交流会」へ参加。尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、大津市、堺市の他地域の企業(総勢405名)と広域交流を図った。
------------------	--

課題・問題点	地域の企業間ネットワークが本市の大きな強みであり、モノづくりの集積を支えてきたが、昨今の景気の低迷などによりその繋がりが崩れつつある。経営環境が依然厳しい中で、今後、新たな事業展開を図るにあたり、ネットワークの維持、再構築が重要な課題となっている。
--------	--

平成27年度に向けた改善策	市内異業種交流グループ間の交流にとどまらず、他グループや他地域の企業との交流を図り、ビジネスチャンス創出に注力する。また、大学が有する技術シーズを活かして製品開発につなげていくべく、近畿大学等地域の大学と技術交流会を開催していく。
---------------	---

所属	経済部 商業課
----	---------

No.	18
-----	----

実施計画事業名	地域密着型支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など商店街自らの取り組みに対し、補助金を交付する。	C

H26 決算	17,393千円	H27 予算	14,903千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	1	7	10
----------	---	---	----

事業番号	第2期市政マニフェスト
22-1	商業集積地における地域商業振興の担い手づくりと、商業者自らが施策メニューを利用できる体制づくりを支援し、地域の資源や人材を活かした地域に密着した商店街づくりを進めます。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	企画提案団体数				指標②	にぎわいづくり事業実施団体数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	8団体	8団体	8団体	D	目標②	25団体	25団体	25団体	C
実績①	0団体	0件	-		実績②	19団体	22団体	-	

事業実績 (平成26年度)	①企画提案型補助金申請なし。 ②にぎわいづくり事業補助金 22団体へ交付(花園本町商店会:花園百円笑店街イベント等)
------------------	---

課題・問題点	
--------	--

平成27年度に向けた改善策	平成26年度末で国の商店街向けイベント補助金(定額100%補助)が終了したため、今後の商店街イベント実施についても金銭面での負担が大きくなると予想される。本補助金の活用を広く周知させ、商店街支援を図りたい。
---------------	---

所属	経済部 商業課
----	---------

No.	19
-----	----

実施計画事業名	観光振興事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	観光客の誘致、本市のイメージアップなどを図るため、東大阪観光協会などの関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRIに取り組みとともに、「東大阪物産観光まちづくりセンター」などと協力して積極的に市の魅力情報を発信する。	C

H26 決算	12,256千円	H27 予算	14,256千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	3	7	10
----------	---	---	----

事業番号	第2期市政マニフェスト
23-3	東大阪観光協会等の関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRIに取り組みとともに、「東大阪物産観光まちづくりセンター」等を活用し積極的に市の魅力情報を発信します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらし
2	8	5

指標①	観光振興補助金への応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	2件	3件	3件	C	目標②				
実績①	2件	2件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	市内飲食店を中心とした観光関連団体が実施する「バル」イベント(布施えびすバル、小阪・八戸ノ里なのはなバル)に対し、観光振興補助金交付により支援した。 また、東大阪観光協会への業務委託により、東大阪観光ガイド等の刊行物の作成・配布やホームページによる情報発信に加え、まちガイドボランティアの育成やまち歩きイベントへの派遣などを実施、さらに平成26年度に関しては市内の観光名所を巡るバスツアー(3回開催)を実施し、本市の観光振興と魅力向上に努めた。
------------------	---

課題・問題点	今後の観光振興においては、既存観光資源の活用に留まらず、様々な側面から「東大阪ならではの観光」を洗い出し、活用を図ることが求められている。 また、観光振興にかかる推進体制の強化が喫緊の課題である。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	観光振興事業補助金交付により、バルイベント等の観光振興事業を引き続き支援していく。 また、ラグビーワールドカップ2019花園開催に向けて、多様な観光関連団体や庁内の関係部局とも情報共有と連携を図りながら観光振興に努めていく。
---------------	---

所属	経済部 商業課
----	---------

No.	20
-----	----

実施計画事業名	空き店舗活用促進事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	商店街が空き店舗などを活用して来客の増加やまちの活力・にぎわい回復事業を行う際、改装費や賃借料に対する補助金の交付やアドバイザーを派遣する。	A

H26 決算	2,231千円	H27 予算	8,466千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	1	2	4	7
----------	---	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
22-2	商店街が自ら空き店舗を活用して取り組む、チャレンジショップや商店街の魅力を高めるための店舗開設等を支援します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらし
4	22	1

指標①	空き店舗活用促進事業の実施件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	3団体	3団体	3団体	A	目標②				
実績①	4団体	3件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに新規店舗についてはアドバイザー派遣も実施した。 ・商店街の魅力高める店舗: 瓢箪山中央商店街(継続・飲食店) ・商店街の魅力高める店舗: 瓢箪山中央商店街(継続・整骨院) ・商店街の魅力高める店舗: イナリ前商店街(新規・飲食店)
------------------	---

課題・問題点	補助金を活用する団体が偏重している。また、アドバイザー派遣による店舗運営のアドバイスを店主が実践できているかどうか、フォローアップが必要がある。
--------	--

平成27年度に向けた改善策	比較的空き店舗の多い商店街に本補助金を活用いただけるよう、一層の働きかけが求められる。
---------------	---

所属	経済部 商業課
----	---------

No.	21
-----	----

実施計画事業名	商業振興コーディネート事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	特色ある商業集積地づくりのため、商業振興に意欲的な商業集積地(モデル地区)を選定し、商業振興に関する事業提案を支援するとともに、取り組み成果を普及させる。	A

H26 決算	4,439千円	H27 予算	4,500千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	1	4	7
----------	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	コーディネート地域からの事業提案数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	1件	1件	1件	A	目標②				
実績①	1件	1件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	商業振興ビジョンの基本方針・基本方向の実現に向けた具体的な取組を推進し、その成果を普及することを目的にコーディネート業務を委託した。 平成26年度のモデル地区「東大阪市金岡商店会」へコーディネーターを派遣し、ヒアリングやワークショップ等の手法を用いた課題設定や地域ニーズの掘り起こしを行い、「空き店舗を活用した商店街のにぎわいづくり」を共通テーマに、意見交換や勉強会を実施し、将来の空き店舗活用に向けて支援を行った。
------------------	---

課題・問題点	
--------	--

平成27年度に向けた改善策	平成26年度に引き続き、申請団体数目標達成のために事業PRを行う。
---------------	-----------------------------------

所属	経済部 商業課
----	---------

No.	22
-----	----

実施計画事業名	個店経営者育成セミナー事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	事業者や創業予定者を対象として「東大阪あきんど塾」を開講。商店経営の在り方や個店の魅力向上をテーマにしたセミナーを実施し、あわせて受講者店舗を対象に、専門家によるアドバイザーを派遣する。	B

H26 決算	954千円	H27 予算	1,128千円
-----------	-------	-----------	---------

振興 施策	1	4	5	7
----------	---	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	あきんど塾受講者満足度				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	90%	92%	96%	B	目標②				
実績①	88%	88%	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	平成25年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の研修事業「東大阪あきんど塾」を実施した。 店舗の魅力向上やマーケティング、マーチャンダイジング、経営分析等の研修実施により、経営者のスキルアップを図った。カリキュラム内容と参加人数は次の通り①商店経営概論(6名)②環境把握と分析(7名)③ストアコンセプトの確立(7名)④戦略策定事例演習(5名)⑤マーチャンダイジング・品揃え(5名)⑥マーチャンダイジング・価格・店舗運営編(4名)⑦来店促進策(6名)⑧購買促進策(5名)⑨経理と決算書(5名)⑩経営分析(4名)計10回の講義に加え、臨店指導(アドバイザー派遣)を実施し座学と現場の両面から個店支援を図った。
------------------	---

課題・問題点	
--------	--

平成27年度に向けた改善策	市職員が商店街へ出向いて、事業の周知を継続して行うとともに、受講生確保のための広報業務も事業委託により積極的に実施していく。
---------------	--

所属	経済部 商業課	No.	23
----	---------	-----	----

実施計画事業名	元気グループ推進支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	商店街組織を構成する商業者が、他の商業者や製造業者、農業者などと連携して、地域の商業を活性化させる取り組みに対し、補助金の交付やコーディネーターを派遣する。	D

H26 決算	0千円	H27 予算	600千円
-----------	-----	-----------	-------

振興 施策	1	3	7
----------	---	---	---

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	元気グループ推進支援事業への企画提案団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	2団体	2団体	3団体	D	目標②				
実績①	1団体	0件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	平成26年度については申請が無かった。
課題・問題点	若手商業者の育成を目的にしているが、自店の経営で様々な制約があり、応募申請が乏しい現状にある。
平成27年度に向けた改善策	本事業が市内商店主グループへ周知されるよう努めるとともに、これまでの成功事例や成果情報を共有することで、新たな若手商業者や意欲のある商店主グループを確保し地域商店街の活性化を図りたい。

所属	経済部 商業課	No.	24
----	---------	-----	----

実施計画事業名	共同施設設置助成事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	買物しやすいまちづくり、安全・安心な買物環境づくり、商店街の魅力づくりのため、商店街などの小売商業者で組織する団体が実施するアーケードや街路灯・防犯カメラなどの整備に対し、補助金を交付する。	A

H26 決算	19,199千円	H27 予算	20,000千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	1	4	
----------	---	---	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	4

指標①	事業実施件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	5件	5件	5件	A	目標②				
実績①	25件	17件	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	市内小売商業団体17団体に対し、防犯カメラの設置や街路灯・アーケード照明のLED化などの事業へ補助金交付を実施した。(東大阪布施商店街振興組合、長瀬商店街等)
課題・問題点	
平成27年度に向けた改善策	平成27年度については、引き続き商店街等の「安心安全づくり」と環境整備推進のため、本事業の周知と有効活用を図りたい。

所属	経済部 商業課
----	---------

No.	25
-----	----

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

No.	26
-----	----

事業名	地域資源活用・広域集客型支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	商業振興ビジョンの基本方向「地域資源活用・広域集客型支援の強化」の具現化を図るための商業振興施策。これからの人口減少社会においては、本市における公共交通の利便性を活用して、各地域に潜在的に存在する資源を活用し、広域からも集客を図っていくことが重要な視点であり、その実現に向けた事業へ補助金を交付する。	D

実施計画事業名	ワークサポート事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	パート労働者をはじめ勤労者の処遇や労働条件について、専門の労働相談員による問題解決を図るとともに、働く意欲がありながら就労できない障害者やひとり親家庭の母親、中高年齢者などを対象として、就労を支援する。	B

H26 決算	0千円	H27 予算	
-----------	-----	-----------	--

振興 施策	1	3	7	10
----------	---	---	---	----

H26 決算	13,555千円	H27 予算	13,761千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	9			
----------	---	--	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画			
部	節	取り組みのあらまし	
4	22	3	

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系			
部	節	取り組みのあらまし	
4	25	2	

指標① 指標の 説明・計算式	指標②				指標① 指標の 説明・計算式	指標②			
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	-	2件			目標②				
実績①	0件	0件		D	実績②				

指標① 指標の 説明・計算式	指標②				指標① 指標の 説明・計算式	指標②			
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	220件	230件	240件		目標②	220件	230件	240件	A
実績①	162件	155件	-	C	実績②	273件	325件	-	

事業実績 (平成26年度)	企画提案型補助金申請なし。
課題・問題点	平成26年度については、国の商店街に対するソフト事業への補助金(定額100%補助)があるため、本市の当該補助金申請はなかった。
平成27年度に向けた改善策	

事業実績 (平成26年度)	・労働相談件数(市役所12階での専門員による労働相談)155件 ・就労支援相談件数(市内3か所の就労支援センターでの就労相談)325件
課題・問題点	
平成27年度に向けた改善策	相談者のニーズを的確に把握し、関係機関との連携を強化することにより、より適切な相談や支援を行っていく。

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

No.	27
-----	----

事業名	若者自立支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	一定期間無業状態にある若者を対象に、社会人、職業人としての能力の開発や意識の啓発、社会適応等のため、アウトリーチ事業や仕事体験事業等、職業的自立に向けた取り組みを支援する。	B

H26 決算	10,000千円	H27 予算	10,000千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	9		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
41-2	二一ト、ひきこもり状態の若者の職業的な自立に向け、きめ細やかに支援します。

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

指標①	就労相談件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	2,500人	2,500人	2,500人	B	目標②				
実績①	5,883人	2,410人	—		実績②				
事業実績 (平成26年度)	相談件数 のべ2410件 各種セミナー等就労支援参加者数 のべ508人 学習交流会・家族交流会参加者数 のべ24人 進路決定者数 219人								
課題・問題点	相談体制の強化。								
平成27年度に 向けた改善策	予算の増額による相談体制の強化を図る。								

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

No.	28
-----	----

実施計画事業名	モノづくり若年者等就業支援事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	若年者(新規卒者を含む)などの早期就職や常用雇用の実現、雇用機会の創出を支援する。	D

H26 決算	10,000千円	H27 予算	10,000千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	5	9	
----------	---	---	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
41-1	若者が働くことに魅力を感じ、市内企業の担い手となるよう、若年者の就職、常用雇用に支援します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

指標①	就労支援によって就労した人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	80人	80人	80人	D	目標②				
実績①	37人	26人	—		実績②				
事業実績 (平成26年度)	・「モノづくり人材育成塾」を開講(10/17~11/14) 受講者数 20名 就職者数 11名 ・「就職必勝セミナー」と「求人企業・事業所合同説明会」を同時開催(9/11) 参加者数 48名 就職者数 1名 ・「東大阪スタイル」を発行(8/15市政だよりで全戸配布) 210,000部 掲載企業数 12社 就職者数 4名 ・「モノづくり企業合同就職説明会」を開催(2/6) 参加者数 258名 就職者数 10名								
課題・問題点	雇用状況の改善により、市内企業の人手不足感は増しているが、一方で若年者の失業率は他の年代に比べて高く、雇用のミスマッチが問題になっている。そうした中、この事業の持つ意味合いはますます重要になっているが、いかにせん求職者が集まりにくい現状がある。								
平成27年度に 向けた改善策	ちらしの全戸配布等、広報活動の強化により事業の周知をはかるとともに、「就職必勝セミナー及び企業求人・事業所合同説明会」の開催時期を9月から11月下旬に、場所を「イコラム」から、より集客の見込める「夢広場」に変更する。								

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

No.	29
-----	----

実施計画事業名	若年者等トライアル雇用支援金事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	国の試行雇用制度を実施する事業主に奨励金を支給し、雇用のミスマッチを解消するとともに、企業の人材を確保する。	D

H26 決算	527千円	H27 予算	3,070千円
-----------	-------	-----------	---------

振興 施策	9		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
41-1	若者が働くことに魅力を感じ、市内企業の担い手となるよう、若年者の就職、常用雇用を支援します。

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

指標①	トライアル雇用支援金支給件数(労働者数)				指標②	トライアル雇用制度による人材の定着率			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	50件	50件	50件	D	目標②	80%	80%	80%	D
実績①	25件	10件	—		実績②	39%	39%	—	

事業実績 (平成26年度)	・若年者等トライアル雇用支援金を8事業所、のべ10件、527,000円を支給。 ・平成23年度に支給した対象労働者の定着率を平成26年11月に調査した。(38.6%) ・平成26年9月、平成27年3月に労政ニュースにより、平成26年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行った。
課題・問題点	一定期間試行雇用することで、本人の適正や職務遂行能力を見極めることができることから、企業側にとってもメリットがある制度であり、より一層の周知が必要である。
平成27年度に向けた改善策	ハローワークのトライアル雇用奨励金(通常月額4万円、3カ月間)に上乗せして、月額2万円を給付しているが、今後も、モノづくり企業支援施策説明会や労政ニュース、その他イベント等で周知して行く。

所属	経済部 労働雇用政策室
----	-------------

No.	30
-----	----

事業名	障害者就業啓発事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	障害のある方に対する理解や認識を深め、誰もが働き暮らしやすい社会を目指すことを目的とし、「障害者に対する意識を啓発する講演会」や「障害者の就職面接会」等を実施し、障害者の就労や生活などの自立に向けた取り組みを支援する。	A

H26 決算	303千円	H27 予算	300千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	9		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

指標①	面接会等の来場者数				指標②	就職者数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	150人	150人	150人	A	目標②	5人	5人	5人	A
実績①	185人	172人	—		実績②	5人	5人	—	

事業実績 (平成26年度)	障害者就職面接会、講演会および就労支援事業所による展示を同一会場で実施する「はたらくくらすフォーラム」の開催(2/10) 来場者数 172人 面接者のべ人数 76人 就職者数 5人
課題・問題点	就職を目指す障害者やその保護者の認知度が低い。
平成27年度に向けた改善策	支援学校や支援事業所および教育関係機関へのチラシの配布や、市内施設でのポスター掲示、チラシの配架等により事業の周知をはかる。

所属	経済部 農政課	No.	31
----	---------	-----	----

実施計画事業名	都市農業活性化農地活用事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	農業団体や農家が行う農業生産基盤の整備などに対して補助金を交付する。	B

H26 決算	17,257千円	H27 予算	33,500千円
-----------	----------	-----------	----------

振興 施策	2	3	4
----------	---	---	---

事業番号	13-6	第2期市政マニフェスト
大阪府が指定する農空間地域において、地域住民が主体的に取り組む耕作放棄地等の解消事業(抜根・学童農園・体験農園等)を支援し、里山の景観保全を図ります。		

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	3

指標①	農地面積割合				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	3.90%	3.90%	3.90%	B	目標②				
実績①	3.86%	3.79%	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	申請件数43件 補助金交付額17,257,000円
------------------	------------------------------

課題・問題点	農家数が減少傾向にあるなかで、本市農業者の振興・育成・活性化に繋がる実効性ある事業内容に拡充する必要がある。また、農業生産基盤整備事業については老朽化する水利施設の突発的補修・改修事業に対して速やかに農業生産、近隣環境の維持が図れる様、補助金交付実施基準の改正や、予算額の確保が必要である。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	農業の振興及び農地保全に繋がる様、補助金交付実施基準を見直し、改正する。
---------------	--------------------------------------

所属	経済部 農政課	No.	32
----	---------	-----	----

実施計画事業名	農業啓発推進事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	市内生産者のエコ農産物を普及させるとともに、より一層のエコ農産物生産を促進することで、安全・安心な農産物を消費者に提供するとともに、消費者が地元の農産物を購入することで地産地消や農地の守り手になるファームマイルージ事業を拡充する。	A

H26 決算	4,150千円	H27 予算	4,150千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	2	3	4	5
----------	---	---	---	---

事業番号		第2期市政マニフェスト

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	1

指標①	大阪エコ生産者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	150人	150人	150人	A	目標②				
実績①	180人	189人	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	ファームマイルージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。
------------------	---

課題・問題点	特になし(生産者数が減少傾向にあるなかで、本市の大阪エコ農産物の生産者比率は既に高い状況にある。)
--------	---

平成27年度に向けた改善策	特になし(市民・消費者に市内農産物の魅力を広める事業に取組み、市内農業の振興・育成を支援する。)
---------------	--

所属	経済部 農政課	No.	33
----	---------	-----	----

実施計画事業名	有害鳥獣捕獲対策事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	生駒山中に生息するイノシシが農作物に被害をおよぼすことを防ぐため、大阪府第11次鳥獣保護事業計画などに基づき捕獲する。	C

H26 決算	1,559千円	H27 予算	2,345千円	振興 施策	2		
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト	第2次実施計画体系
		部 節 取り組みのあらまし
		4 23 5

指標①	イノシシの捕獲数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	150頭	150頭	150頭	C	目標②				
実績①	83頭	101頭	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	生駒山中に生息するイノシシが農作物に被害を及ぼすことを防ぐため、大阪府第11次鳥獣保護事業計画に基づき、捕獲について公益社団法人大阪府猟友会枚岡支部に捕獲業務を委託して実施している。
課題・問題点	イノシシの農作物被害以外の住環境に関する市民からの苦情・要望に加え、サル・アライグマ・イタチ・カラス等の出没に関して農業とは直接関係がない苦情が多く、農政課では対応に苦慮している。鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律やその他関連法令に対応する組織を早急に構築する必要がある。
平成27年度に向けた改善策	上記の課題・問題点について、市として検討が図られる必要がある。

所属	経済部 農政課	No.	34
----	---------	-----	----

実施計画事業名	花とみどりいっぱい運動事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	休耕や耕作放棄地での草花栽培による荒廃防止・景観形成を進めるとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援する。	B

H26 決算	2,021千円	H27 予算	3,000千円	振興 施策	2	10	
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	----	--

事業番号	第2期市政マニフェスト	第2次実施計画体系
13-5	休耕地や耕作放棄地での草花栽培による荒廃防止・景観形成を進めるとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援する。	部 節 取り組みのあらまし
		4 23 4

指標①	栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	44,000㎡	46,000㎡	48,000㎡	B	目標②				
実績①	16,000㎡	43,000㎡	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	申請件数20件 補助金交付額2,021,000円
課題・問題点	申請実績は増加しているが、目標に向けてより一層本事業の農家への周知を進める必要がある。
平成27年度に向けた改善策	目標達成に向けてより一層本事業の農家への周知を継続して進める。

所属	経済部 農政課
----	---------

No.	35
-----	----

事業名	農産物展示品評会経費	平成26年度 目標達成度
事業概要	農家から出品された自家産野菜や花などを審査し、成績優秀者を表彰することで、生産技術の向上と普及を図り、その優良な付加価値のある野菜・花きの増産により農業経営の安定を目指す。	A

H26 決算	210千円	H27 予算	233千円
-----------	-------	-----------	-------

振興 施策	5	7	10
----------	---	---	----

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらし
4	23	2

指標①	出品農家数(のべ)	指標②	
指標の 説明・計算式	展示、立毛、花卉と年3回開催	指標の 説明・計算式	
	H25 H26 H27 H26達成度		H25 H26 H27 H26達成度
目標①	100 100 100	目標②	
実績①	119 119	実績②	
事業実績 (平成26年度)	展示野菜の部6/27 出品農家数46 展示花きの部11/21 出品農家数16 立毛野菜の部12/9、10、12 出品農家数57		
課題・問題点	・開催時期、栽培時の気候状況に左右される面がある ・年々、生産農家・栽培農地は減少している		
平成27年度に向けた改善策			

所属	経済部 農政課
----	---------

No.	36
-----	----

事業名	優良農家優良団体表彰事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	団体活動を通じて農業者の利益を守るとともに、社会的地位の向上に努めている農業団体及び、農業経営の改善に努め他の規範と認められる農業者を、表彰する。	A

H26 決算	43千円	H27 予算	45千円
-----------	------	-----------	------

振興 施策	5	7	10
----------	---	---	----

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらし
4	23	1

指標①	表彰した農業者・団体数	指標②	
指標の 説明・計算式	農協からの推薦により選定	指標の 説明・計算式	
	H25 H26 H27 H26達成度		H25 H26 H27 H26達成度
目標①	20 20 20	目標②	
実績①	20 20	実績②	
事業実績 (平成26年度)	優良農業者 10農家 優良団体 10団体		
課題・問題点	農協からの推薦により選定しているが年々、農家・農業団体は減少傾向にある		
平成27年度に向けた改善策			

所属	経済部 経済総務課
----	-----------

No.	37
-----	----

実施計画事業名	中小企業融資事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	中小企業の円滑な資金繰りや、経営を安定させるため、公的融資を実施する。また、クリエイション・コア東大阪において、総合的な融資相談を行う。	A

H26 決算	1,509,557千円	H27 予算	1,508,968千円
-----------	-------------	-----------	-------------

振興 施策	6		
----------	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	2

指標①	融資が実行された事業者の割合				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	25%	25%	25%	A	目標②				
実績①	66%	69%	—		実績②				

事業実績 (平成26年度)	大阪府市町村連携型融資である「小規模企業融資制度」について、昨年度に引き続き取扱金融機関へ預託を行い、大阪府下において最も低利である0.8%の貸付利率を引き続き実現した。
課題・問題点	本制度は、大阪府制度融資の小規模企業サポート資金における市町村連携型として実施するものであり、制度の実施は府の動向に左右される。
平成27年度に向けた改善策	平成26年度に引き続き、融資制度のチラシを作成し関係機関への設置を依頼するとともに、市の施策説明会等において広報を行い周知を図る。また、中小企業振興条例を広く周知するために作成する回覧板について、今年度は市の経済施策の紹介とともに小規模企業融資の紹介も盛り込んだものとする事で、より多くの事業者の目に留まるよう工夫する。

所属	経済部 経済総務課
----	-----------

No.	38
-----	----

事業名	中小企業情報提供事業	平成26年度 目標達成度
事業概要	本市の最新支援施策や各種セミナー等の情報を、市内中小企業者へ向け提供する。また、本市産業施策の立案にあたり、重要な基礎資料となる中小企業動向調査を行う。	A

H26 決算	2,298千円	H27 予算	2,811千円
-----------	---------	-----------	---------

振興 施策	10		
----------	----	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	動向調査回数				指標②	情報提供回数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H25	H26	H27	H26達成度		H25	H26	H27	H26達成度
目標①	—	4回	4回	A	目標②	—	24回	24回	A
実績①	4回	4回			実績②	28回	25回		

事業実績 (平成26年度)	4半期ごとに市内中小企業の動向調査を行うとともに、補助金やセミナー情報等最新の施策情報を、25回FAX送信を実施した。
課題・問題点	FAX送信にかかる回線使用料及び電信料の経費と、その他の手段で情報提供を行う手段との経費に差がある。
平成27年度に向けた改善策	情報提供手段のあり方を検討する。

所属	経済部 経済総務課
----	-----------

No.	39
-----	----

所属	経済部 経済総務課
----	-----------

No.	40
-----	----

事業名	中小企業振興会議	平成26年度 目標達成度
事業概要	振興会議は市長が諮問機関として設置する第3者機関としての役割を担い、法的には地方自治法(第138条の4)に規定される市長の附属機関として設置する。構成メンバーは、市内中小企業者、学識経験者、公募による市民、経済団体、金融機関、行政など幅広い関係者によって構成される予定であり、本市中小企業の①動向に関すること ②施策の推進に関すること ③経済の活性化に関すること ④条例の改廃に関すること ⑤その他本市中小企業の振興に関することなどについて審議を行う。	

事業名	東大阪市CSR経営表彰(東大阪市企業・従業員表彰事業)	平成26年度 目標達成度
事業概要	地域や社会における企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たす企業を表彰する「CSR経営表彰」を行い、当該企業の企業価値を高め、社会から信頼される企業として市域に軸足を置いて、環境・地域・社会・雇用・人権・労働の分野で社会に貢献する中小企業の事業所の増加を図り、もって本市産業の持続可能な振興と発展に資することを目的とする。	C

H26 決算	1,565千円	H27 予算	2,217千円
--------	---------	--------	---------

振興 施策	4	7		
----------	---	---	--	--

H26 決算	675千円	H27 予算	1,058千円
--------	-------	--------	---------

振興 施策	5	7		
----------	---	---	--	--

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	0	0

事業番号	第2期市政マニフェスト
------	-------------

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3
4	25	1

指標①	中小企業振興会議からの意見等に基づいて実現した施策の数	指標②	
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式	
	H25 H26 H27 H26達成度		H25 H26 H27 H26達成度
目標①	- - -	目標②	
実績①	- -	実績②	

指標①	応募企業数	指標②	
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式	
	H25 H26 H27 H26達成度		H25 H26 H27 H26達成度
目標①	- 8社 8社	目標②	
実績①	4社 5社	実績②	

事業実績 (平成26年度)	【中小企業振興会議】 第1回(H26.8.6)各部会における進捗報告・H25中小企業振興施策に関する実施状況の報告 第2回(H26.11.26)各部会における進捗報告 第3回(H27.3.2)各部会における報告等
------------------	---

事業実績 (平成26年度)	H27.2.21表彰式開催。CSR経営表彰企業3社(応募企業5社)について表彰した。
------------------	--

課題・問題点	
--------	--

課題・問題点	受賞企業について、現行では市の積極的な公式広報が受賞特典となっているが、応募企業を伸ばすための他のインセンティブ付与に必要性について検討の必要がある。
--------	---

平成27年度に向けた改善策	
---------------	--

平成27年度に向けた改善策	平成26年度に引き続き、チラシ等により広報を行い募る。
---------------	-----------------------------